



▲心肺蘇生法を体験する子どもたち

**消防・救急フェスティバル**  
9月9日(日)、イオン登別店で『消防・救急フェスティバル』(市主催)が行われました。この催しは、市民に消防行政により親しんでもらおうと、毎年この時期に開催されています。あいにくの天候で、子どもたちに人気の消防車両の公開や放水体験などは中止になりましたが、会場では、山岳救助・水難救助装備品や災害時の非常持出品の展示のほか、自動体外式除細動器(AED)の使用方法や心肺蘇生を学ぶ救急講習会が行われ、参加者は真剣な表情で受講していました。

**万が一に備えて  
真剣に**

9/9

**白石・海老名の  
名産ずらり**

**白石市・海老名市物産展**

9月1日(土)・2日(日)、幌別地区手づくり祭り会場で、『2012白石市・海老名市物産展』(姉妹都市等都市間交流協会主催)が行われ、市とトライアングル交流宣言を調印している、宮城県白石市と神奈川県海老名市の物産が販売されました。

白石市は、温麺や米、味噌の販売や温麺のつかみ取り、甲冑の試着などを行い、初参加となる海老名市は『かながわの名産100選』の『吟味豚』や、市が寄贈した2頭のポニーを象ったクッキーなどを販売し、どちらのコーナーでも多くの人が足を止めていました。

9/  
1・2



▲白石市の味噌を手取る来場者

**秋晴れの中  
新鮮な海産物に舌鼓**

**第35回登別漁港まつり**

9月8日(土)、登別漁港で『第35回登別漁港まつり』(同実行委員会主催)が行われ、多くの人でにぎわいました(9日(日)は、悪天候のため中止)。

毎年恒例となっている大人気イベントの『朝揚げサケ抽選即売会』は、不漁のため中止となりましたが、特設ステージでは、のど自慢シバオケ大会や力強いダンスパフォーマンス、バンド演奏などが披露され、まつりを盛り上げていました。

また、海産物コーナーには捕れたての生秋サケや生サンマ、ホッキなどが並び店頭は買い求める人でにぎわっていました。会場ではいぶりマルシェも同時開催され、西胆振の農業関係者が、トウキビヤトマト、リングなどの地場産品の販売を行いました。夜には1千500発の花火が打ち上げられ、初秋の夜空に彩りを添えました。



▲にぎわうまつり会場の様子

9/  
8